

北海道魂見せてます!

元気・現地・JUMP!

北海道で、いま話題の
スポットをご紹介



樽前山

苫小牧市

支笏湖や苫小牧市を一望できる絶景の山

標高1,041mの活火山「樽前山」は、登山口となる7合目ヒュッテまで車で行くことができるため、子どもでも登山を楽しめる人気登山スポットだ。ヒュッテから約10分の見晴台からは支笏湖を望めるため、その景色を目当てにする観光客も多い。森林限界点が低いので、大きく開けた景観を楽しみながら山を歩けることも魅力的だ。約1時間で登頂可能で、頂上では太平洋を一望でき、現在でも白煙を上げる溶岩ドームを周遊できるコースもあるので活火山の迫力を体感することもできる。季節ごとに100種類以上の花を見られるお花畑コースを行けば隣の風不死岳を縦走可能だ。

11月下旬から5月下旬の冬期間は通行止めのため、山開きの情報を確認しよう。



樽前山
苫小牧市・千歳市
☎0123-25-2404 (支笏湖ビジターセンター)

新幹線 新函館北斗駅

北斗市

玄関口だけにしておくのはもったいない! 「新函館北斗駅」の魅力

北海道新幹線開業から1年あまりが経ち、今ではビジネスや観光で多くの人に利用されている北海道の玄関口「新函館北斗駅」。この駅ならではの見どころは、新幹線を間近で見ることができる自由通路やホームからの眺めだろう。時間によってはH5系とE5系の車両が上り下りに並ぶ姿を目にできるので、ファンにはたまらない。

また、併設された北斗市観光交流センターには「北斗」つながりで「北斗の拳」のケンシロウ像が建っており、南北海道の特産物を販売するアンテナショップもあるので駅そのものを楽しむことができる。2017年3月には駅前にホテルと飲食物販売コーナーがオープンし、今後の発展にますます期待だ。



新函館北斗駅
北斗市市渡1丁目1番1号
☎0138-83-5057 図 6:00~22:00

濤沸湖 (とうふこ)

網走市

四季を通して250種の野鳥が憩う動物の楽園

2005年にラムサール条約の登録湿地となった「濤沸湖」。川と海の水が入り交じる汽水湖であることから生き物にとって栄養豊かな環境で、特別天然記念物のタンチョウの繁殖も確認されている。渡り鳥であるガン・カモ類は毎年約3万羽が中継地・越冬地として飛来し、南に渡るオオハクチョウなどの渡り鳥が羽を休める様子を観察できることでも有名だ。

湖のほとりにはキツネなどの野生動物を見られる他、馬や牛が放牧され草を食む牧歌的な風景が広がっており、周辺には網走国定公園や世界自然遺産の知床国立公園などの自然公園もあるため、「北海道の自然」をまるごと体感できるスポットとなっている。



濤沸湖
網走市字北浜203番3地先
☎0152-46-2400
図 9:00~17:00 (濤沸湖水鳥・湿地センター)

二十間道路桜並木

新ひだか町

エゾヤマザクラが咲き誇る日本屈指の桜並木

新ひだか町静内にある「二十間道路桜並木」は、その名の通り二十間(約36m)幅の道沿い、直線7kmに渡って約3,000本もの桜が咲き誇る北海道随一の桜の名所だ。1916年から3年間の月日を費やし近隣の山々からサクラが移植され、現在では樹齢約100年のサクラが威風堂々と艶やかに咲き誇る様子を楽しむことができる。この桜並木は「さくら名所100選」や「北海道遺産」などに選ばれており、毎年5月上旬の開花時期には期間限定で夜間のライトアップがされる「しずない桜まつり」もあるため、昼夜共に全国各地から多くの花見客が訪れている。



二十間道路桜並木
日高郡新ひだか町静内田原
☎0146-42-1000 (新ひだか観光協会)